# 二月四日の町議会

## 予算の追加更正など決まる

町議会の臨時会が2月4日開かれ、町長が提出した次の四議案を決定しました。

①甘楽町公告式条例の一部改正について

説明＝町の掲示板の場所を一部変更したもの。

③甘楽町防災会議条例の設定

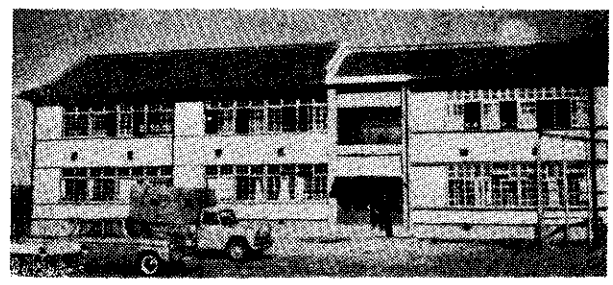
説明＝この条例は、いままでそれぞれの機関にわかれていた災害対策を統一し、いつそうの効果をあげようとしてつくられたもの。くわしくは、次号でお知らせします。

⑧新屋小学校増築事業に対する起債について

説明＝すでに増築校舎は完成しましたが、この事業費として百八〇万円を借り入れすることになりました。

④昭和37年度の甘楽町歳入歳出追加更正予算

説明＝現在までの一億一千二百一万六千二百三八円の予算に対し、内容を再調整したものです。この結果、三百三〇万余円が追加されて総予算額は、一億一千五百三四万八千三百七八円になりました。



＝写真は、完成した新屋小

# できた小幡忠霊塔

## 除幕式は1月21日でした

大字小幡、字今宮地内に、小幡忠霊塔が完成し、1月21日に除幕式が行なわれました。この塔の建設は、郷友会を中心につくられた小幡忠霊塔建設委員会（桑原木十郎委員長）が主体で、町のお金と、住民その他有志のご寄付をもとでに行なわれました。

塔は仙台石で、大きさは高さ約三・六m、幅約一・二m、厚さ約〇・三mというりつぱなもので、表面の「忠霊塔」の字は、元陸軍大将岡村寧次氏に書いていただきました。いままで、この地区には、忠霊塔がなかつたために建てられた

写真（上）は、完成した忠霊塔（下）は、自衛隊の音楽隊

# 新屋小の増移築

## 1月18日に完成しました

新屋小学校の増移築校舎が1月18日に完成し、2月1日に同校で落成式が行なわれました。

この新屋小学校は、中学校統合の一連の関係から、旧中学校舎を小学校舎として使用することになつたもので、このため、教室数の不足分を、昨年の7月1日から建築していたものです。

こんど完成したものは、新築分では普通教室二（三五坪）、階段・昇降口一（三五坪）、旧小学校からの移築分は、普通教室三、音楽室一（一〇八坪）です。また、この総建築費は七百六万五千円でした。

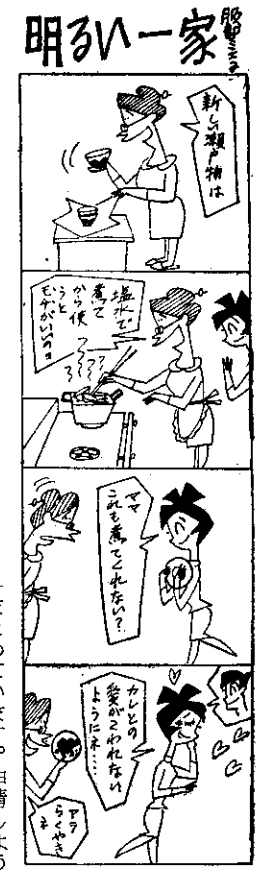
# 大麻の栽培

## 免許証が必要です

大麻を栽培するには、知事が発行する「大麻栽培取扱者免許証」がなければなりません。

もし、無免許で栽培しますと、罰金または懲役の刑を受けますから、栽培しようとするときは、必ず免許証をいただいてからにしてください。

免許証の申請は、2月28日まで甘楽町役場経済課で取りまとめています。申請しようとするときは、印章、交付手数料（六〇円）を持参して申し込んでください。（経済課）





# 町民税の申告

3月は、町民税の申告の月です。この申告は、ことしも各地区へ職員が出張し申告指導と代筆をし、とりまとめます。日時の通知、申告用紙の送付は、近日中に行ないます。（税務課）

# 優遇される技術者

## 産業開発青年隊ではその技術者を養成します

産業開発青年隊員五九〇人を募集しています。

産業開発青年隊は、昭和28年度に発足しました。教育訓練は「働きつつ学ぶ」方式がとられ、郷土開発と海外進出の第一線技術者を養成するもので、池田首相のいわれる「人づくり」活動の一環です。

すでに五千名以上の修了者が国内の建設業界に、あるいは南米ブラジル国の開発事業に、さらに日本版平和部隊として、東南アジアで活躍しています。

今後も、国内外で、多数の建設技術者、技能者が必要とされますので、有能な青年が多数応募されますよう、おすすめします。

**募集期日**

38年2月28日までです。

**応募資格**

◇幹部隊　募集人員三名

海外へ移住または派遣するもの、および国内で訓練する青年隊の幹部要員となる人を産業開発青年隊中央訓練所で養成します。

21才～35才までの男子で高等学校卒業以上の学力を有する人。

◇中央隊　募集人員一〇〇名

海外と国内で、建設事業に従事する人を産業開発青年隊中央訓練所で養成します。

18才～25才までの男子で中学卒業以上の学力を有する人。

◇地方隊　募集人員四五名

国内で建設事業に従事する人を県の訓練所で養成します。

18才～25才までの男子で中学卒業以上の学力を有する人。

**訓練期間**は、いずれも一カ年です。くわしくは、役場の建設課へ問い合わせて下さい。

# ミシンを寄贈

## 那須出身の田村さん

このほど、那須分校へ、シンガーミシン一台が贈られました。贈つた人は、那須出身の田村一二さんで、現在、東京都太田区の大森に住んでいます。

田村さんは、小学校二年まで那須分校で勉強し、ここをやめて東京に出ました。そして、現在は、横浜市にある味の素工場に勤務しています。

このたび、祖先の年同のため郷里に帰り一へき地の恵まれない子どもたちの学力向上に役立てて下さい」と、引出物を節約して、このき挙となつたものです。

# 母豚の乳房炎

## 三月ごろが特に多い

豚の分べんがいちばん多い時期は三月といわれますが、母豚が乳房炎にいちばんかかりやすいのもこの時期です。

これは、乳房の傷からバイ菌がはいつておかされるのと乳のよくでる母豚にエサをやるそのやりかたがまずかつたりしてかからせる場合の二つがあります。

乳房の負傷によるのは、子豚が起きあがるときに、足で乳房をふんだりして傷をつけそこからバイ菌がはいるためで、子豚のツメがのびていたら切つてやり、乳房炎にかかつたら、ペニシリンの注射をし、同時に傷口にイヒチオール軟コウをぬつて、手当てをしてやることが大切です。傷がなくてエサのやり方でかかるのは、乳の多くでる豚にエサをやりすぎ、乳房が張りつめておこるものといわれています。したがつて、出産予定日の一週間前からエサをへらし、産後一週間か10日ぐらいたつて普通の量にもどしてやる心づかいが必要です。

# 国保の届出は10日以内に

国民健康保険に加入している被保険者が、出生・死亡・社会保険加入・転出・転入した場合は、10日以内に役場または、各出張所へ届けてください。

保険税の賦課期日は、4月1日です。保険証をたしかめて、家にいない人が記入してあつたら、すぐに届けてください。（厚生課国保係）

# ココダナ教

宮田　隆

—あら、今月も、また赤字よ、困つたわ。

ミチ子さんは家計簿を開いて、まゆをしかめた。ご主人の、といつても、まだ新婚の気分の抜けきらないヒロシ君が、どれどれと、のぞきこむようにした。

ふたりの視線が合つて、ニツコリ笑つた。

—でも新婚早々出費が多かつたんだから、キミだけのせいじやないさ。

—それはそうだけど。

ふたりで、これから家計をひきしめていこうと、暗黙の誓いがかわされたときドアをひそかにたたいて、夜の来客があつた。

新所帯を持つてから、このアパートを夜おとずれてくる客は、まれだつた。ふたりは顔を見合わせ、いま時分だれだろう？　というサインを示した。

ヒロシ君が立つてドアをあけた。

この町は、いま選挙運動のまつ最中だつた。候補者は互いにしのぎを削り、火花を散らし合つていた。

アパートの訪問者は、このなかのひとりの運動員だつた。

—おりいつて、

と、その男はいつた。

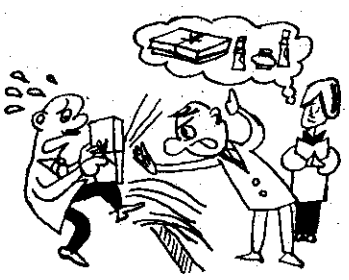
—これはほんのごあいさつですが…

見ると、デパートの商品券だつた。ミチ子さんの頭のなかでブラウスや、おしやれ下着や、化粧品がクルクルとひらめいた。

—でも、そんなことは、いけないことですから…

ヒロシ君は、おしかえした。しばらく押し問答の末男は、チエツと舌うちをして、荒々しく帰つていつた。

ヒロシ君は、会社の庶務に勤めていて、いろいろと世話をする役がらなので、この運動は、とくに金額のはずんだものと見えた。



あとで、

—ノドから手が出そうだつたよ。

と、ヒロシ君が言い、ミチ子さんも、

—私だつて…

と、うわ目を使つた。

—ぼくは先輩におしえられて、ココダナ教の信者になつているものだから…

と、ヒロシ君が言つた。

ミチ子さんは、

—ココダナ教つて、なあに？どんな宗教？

と、いぶかしげにたずねた。

—何か心に迷いが生じたとき下腹にぐつと力を入れてハハン、ココダナ？と自省するのさ。迷いはたちどころに消える。

ミチ子さんも笑つた。そして今から、夫と同じココダナ教の信者になろうと決心した。

選挙法、守らぬ候補はボイコット

# スケート教室

## 榛名湖で開く

2月10日、榛名湖でスケート教室がひらかれ、町内から三百名のスケーター？が大挙おしかけました。

このスケート教室は、町の教育委員会と体育協会が主催したもので、この日は第一陣が参加し、第二陣は17日に、中学生を中心に、これも三百名が参加することになつています。

スケート教室は、昨年につづいて二回めです。最初のうちはすつてんころり組がかなり多く、氷上をはい回わつて処置なしといつた風景があつちこつちにみられました。しかし、さすがはお好きな人たちばかり。しまいには「オリンピック選手になれるぞ」と思われるほどの上達？ぶりでした。